



2024年2月9日

各 位

会社名 アンジェス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 英
(コード: 4563 東証グロース)
問合せ先 広報・IR グループ

<https://www.anges.co.jp/contact/>

2023年12月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2023年8月9日に公表いたしました2023年12月期(2023年1月1日~2023年12月31日)通期業績予想について、実績値と差異が生じることとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値との差異

2023年12月期通期連結業績予想値と実績値との差異(2023年1月1日~2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 190	百万円 △13,500	百万円 △7,500	百万円 △7,500	円 銭 △39.78
今回実績値(B)	152	△11,967	△5,651	△7,036	△37.17
増減額(B-A)	△37	1,532	1,848	463	
増減率(%)	△19.5	—	—	—	
(ご参考)前期連結実績 (2022年12月期)	67	△16,316	△14,610	△14,714	△94.29

2. 差異の理由

2023年12月期通期連結業績におきまして、売上高は、アンジェスクリニカルリサーチラボラトリーで実施している拡大新生児スクリーニングの受託数が計画どおり進まなかったことにより、計画値に比べ37百万円減少し、1億52百万円となりました。一方、当社子会社であるEmendoBio Inc. (以下Emendo社といいます)の研究開発費が計画値よりも減少したことなどにより、営業損益は計画値に比べ15億32百万円改善し、119億67百万円の損失となりました。さらに、為替の円安による為替評価差益により営業外収益が生じたことなどにより経常損益は計画値に比べ18億48百万円改善し、56億51百万円の損失となりました。しかしながら、投資有価証券評価損及び当社子会社のEmendo社の事業構造改革費用など特別損失を計上したことにより、当期純損益は計画値に比べ4億63百万円改善し70億36百万円の損失となりました。

以上